

<ウェブサイト公開用>

平成28年度第1回社会福祉審議会児童福祉専門分科会 議事要旨

日 時	平成28年7月4日(月) 午後4時～午後5時
場 所	総合庁舎7階研修室
出席者	<p>(社会福祉審議会児童福祉専門分科会委員)</p> <p>小野剛、藤並マサ子、山田祥隆、森田信司、吉田聖子</p> <hr/> <p>(事務局)</p> <p>子どもすこやか部 奥野、川西 子ども家庭課 菊地、黒田</p> <p>子ども見守り課 竹山 子ども子育て室 奥田 子ども応援課 村野</p> <p>子育て支援課 栗橋 保育室 関谷、浅井</p>
議 題	<p>1. 第2次東大阪市次世代育成支援行動計画(前期)の事業実施状況について</p> <p>2. 第2次東大阪市ひとり親家庭自立促進計画の事業実施状況について</p> <p>3. 母子家庭援助施設の公募について</p> <p>4. みらく保育園の公募について</p>
議事内容	<p>(開会)</p> <p>【第2次東大阪市次世代育成支援行動計画(前期)の事業実施状況について】</p> <p>○事務局</p> <p>・第2次東大阪市次世代育成支援行動計画(前期)の事業実施状況について説明。</p> <p>○委員</p> <p>・生活困窮者自立支援事業の学習支援はどのように実施したか。</p> <p>○事務局</p> <p>・生活福祉室で対象者を募り、夏休み期間中に実施。昨年度は10名参加。</p> <p>【第2次東大阪市ひとり親家庭自立促進計画の事業実施状況について】</p> <p>○事務局</p> <p>・第2次東大阪市ひとり親家庭自立促進計画の事業実施状況について説明。</p>

○委員

- ・母子寡婦福祉会への加入者が少なく、児童扶養手当の所管課である国民年金課の窓口で同会の情報提供を行うなど、PRを進める必要がある。また、地域でひとり親家庭に会う機会が少ないため、母子福祉推進委員として、どのようにしてひとり親家庭に会う機会を確保していくか検討する必要がある。

○事務局

- ・母子寡婦福祉会の広報に協力する。会長と相談のうえ、母子福祉推進委員が活動しやすいような方法について検討する。

○委員

- ・しんぐるマザーパワーあっぷの参加者が少ない。私立保育園でも広報に協力する。

○委員

- ・ひとり親家庭への貸付だけでなく、給付制度の創設についても検討していただきたい。

○委員

- ・子育て短期支援事業について、本当にこの制度の利用が必要なケースかどうか、施設に連絡いただく前に行政側で一度検討していただきたい。

○委員

- ・就労するためには子どもを保育所などへ預ける必要があるが、条件として親が就労している必要がある。何か支援策はないか。

○事務局

- ・待機児童の問題があり、非常に困難な状況になっている。

○委員

- ・生活保護の受給を始めると、抜け出すことがなかなか難しい。離婚前の相談についても積極的強化に取り組んでいただきたい。

○委員

- ・市役所に離婚届を提出に来た際に、窓口で養育費の取得について確認やアドバイスができないか検討していただきたい。

○委員

- ・ 養育費の取得について、スマートフォンを活用するなどしてわかりやすく情報発信していただきたい。

【母子家庭援助施設の公募について】

○事務局

- ・ 母子家庭援助施設の公募について説明。

○委員

- ・ 申請があった法人の中で事業者を決定するということか。

○事務局

- ・ 審査のうえで評価点が50%未満であれば選考対象外となる。

○委員

- ・ 決定事業者が不在の場合はどうのように対応するのか。

○事務局

- ・ 公募の条件を見直すなど、再度公募することも検討する。

○委員

- ・ 他事業と併用しなければ採算面で厳しいことが想定される。

【みるく保育園の公募について】

○事務局

- ・ みるく保育園の公募について説明。

(閉会)